



# Support The Hospitality

最高の“おもてなし”を支える最適のパートナーに

## 第35期 ビジネスレポート

2018年10月1日 ▶▶▶ 2019年9月30日

### BUSINESS REPORT

 セントラルサービスシステムグループ  
CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP  
株式会社CSSホールディングス

証券コード：2304

## 株主のみなさまへ



### CSSグループ経営理念

私たち、CSSグループは、  
「質の高い“おもてなし”の創造」を理念とし、  
「最高の“おもてなし”」を実現するための  
「最適なサービス」を提供します。

### ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第35期(2018年10月1日から2019年9月30日)までのビジネスレポートをお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

第35期は、スチュワード事業、空間プロデュース事業が好調で、売上高では前期を上回ることとなりました。また、営業利益及び経常利益についても増益となりました。しかしながら親会社株主に帰属する当期純利益についてはヤマト食品株式会社に関する減損損失及び同社の株式譲渡に伴う関係会社株式売却損からなる特別損失の影響で、大きく損失を計上することとなりました。

ヤマト食品株式会社については、当期を含め3期連続での損失計上となり、今後のグループ全体の損益に与える影響も懸念されたことから株式譲渡という選択をいたしました。今回の株式譲渡にあたっては当該会社への当社の債権放棄が条件となっており、財務状況も改善する見込みであり新しい株主の下での再生を期待しております。

第36期につきましては、ヤマト食品株式会社のグループ離脱により売上は減少するものの、フードサービス事業については安定的な黒字化を見通しており、スチュワード事業、空間プロデュース事業の好調を維持しながらグループ全体で利益を上げる構造をより一層確実なものとし、グループの価値を向上させることで、株主のみなさまのご期待に応えていく所存です。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 林田喜一郎

## 社外取締役インタビュー



越智 敦生

役職：取締役 監査等委員(社外)  
生年月日(年齢)：1953年9月8日(66歳)  
在任年数：21年(1998年8月～監査役、2015年12月～現職)  
兼務職：公認会計士越智会計事務所所長



田口 泰一

役職：取締役 監査等委員(社外)  
生年月日(年齢)：1947年9月22日(72歳)  
在任年数：2年(2017年12月～現職)  
兼務職：株式会社T.K Sailing Corporation 代表取締役

### — CSSグループに対する印象は

**越智** 元気のある積極的な会社で、現場をととても大事にしている印象です。役員も各担当セグメントの業績に対して真剣に取り組んでいます。また、取締役会などの議論も活発です。グループ全体で一体となってどう成長していくか常に話し合っています。

**田口** 各事業会社の社長、担当役員がそれぞれの事業をマイカンパニーとしてしっかり把握し、責任をもって運営していると感じます。そのうえでグループシナジーを生み出すための丁寧な議論が交わされています。ほかにも、従業員の精神面を含めた健康管理や、ハラスメント等のガバナンスには非常に気をつけている会社だと思います。

### — ご自身が社外取締役として果たしていきたい役割は

**越智** 公認会計士として、財務分野で企業価値を高められるよう努めていければと考えています。監査法人とのミーティングや取締役会等の経営会議、現場などそれぞれの場で自分の立場から気づいたことを発信しています。また、社外取締役として、コーポレートガバナンスへの対応ができていくかを配ることが最も大事なことだと思います。

**田口** コーポレートガバナンスを常に意識し、経営陣に近すぎない立場で社外取締役をしっかり務めることです。また、私はホテル業界で45年間過ごしてきました。事業は、いかに全体がひとつのチームとなれるかが最も大事です。ホテル業界で身についたお客様ファーストの視点を生かし、グループのチーム力をもっと深めることが私の役割と考えています。

### — CSSグループが成長するために今後必要なことは

**越智** シナジー効果がある分野だけでなく、場合によっては新たな事業の芽となる分野とのM&Aもひとつの方法だと思います。また、人手不足は非常に大きな課題です。

**田口** 私も参画しているのですが、2019年10月から新たに採用拡大のための専門部署をつくり取り組んでいます。外国人採用も含め全ての従業員が働きやすい職場をつくり、人材のベースがしっかりと確保できれば、日本一の会社になっていけると考えています。

## 東洋メディアリンクス株式会社

### 新社長就任ごあいさつ

この度、東洋メディアリンクス株式会社(以下、TML)の代表取締役社長に就任いたしました松島 透と申します。

CSSグループの一員として、株主のみなさまの期待に応えられるよう努めてまいりますので、変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長  
松島 透



### TMLへの思い

当社は1962年8月に創立し、2022年には60周年を迎える歴史のある会社です。お客様には日本を代表する企業様も数多く、それだけの実績を築いてこられた過去の諸先輩方に感謝するとともに、それを生かし、さらなる成長につなげていきたいと思っています。

### 仕事におけるモットー

個人的な仕事での信条は、“素直な心”ということです。一步立ち止まり、素直な気持ちで自分を見つめなおすことで冷静になることができます。もうひとつは“諦めない”ことです。長年仕事をしていれば、思うようにいかないことも当然ありますが、諦めない気持ちでじっくり取り組むことが大事だと思います。

### 経営方針について

経営で最も大事にしていることは、まず従業員が幸せになることです。楽しく働き甲斐のある会社にできれば、おのずとお客様や株主様をはじめとしたステークホルダーのみなさまに貢献し喜んでいただける会社になると思っています。

営業活動において、お客様の依頼をただこなすだけ、もしくは一方的に提案するのではなく、お客様と一緒に考えて、お客様とともに成長できる関係を目指しています。そのためにも、社長として従業員が働きやすく、若手社員も思い切って様々な仕事ができる環境を構築することが自分の仕事です。また、企業の成長に向けて、従来の事業に加えて新しい領域にも視野を広げていけたらと考えています。

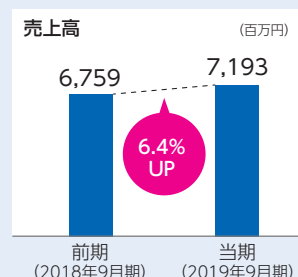
## スチュワード事業

売上高 **7,193** 百万円  
前年同期比 6.4%増

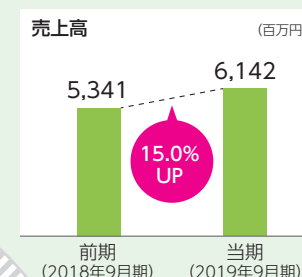
営業利益 **284** 百万円  
前年同期比 31.2%増

当期は、大型案件も含めた新規受注を8件獲得しました。また、前期(2018年9月期)に新たに受託した事業所の実績が期初から貢献したこともあり、売上高は前期及び計画値を上回りました。

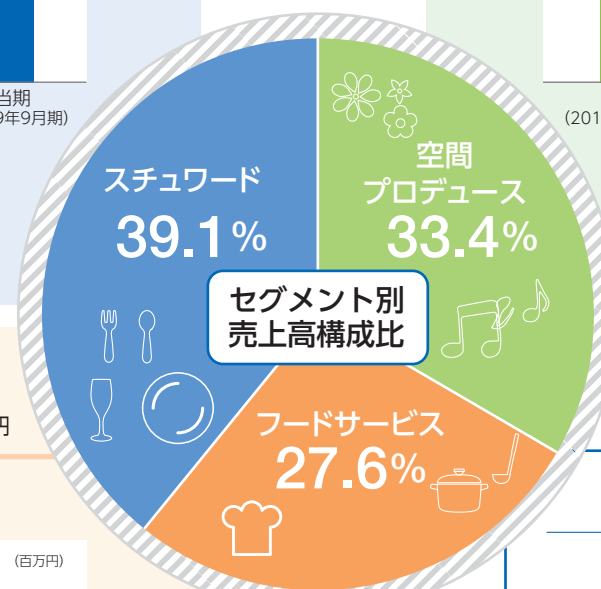
費用面では、人手不足が依然として続き、採用コストの上昇、パート・アルバイトの時給アップの影響があったものの、新規開業に伴う初期投資を売上拡大規模に見合った水準に抑えたことや、その他経費が効率的に執行されたことで、営業利益も前期以上を確保しています。



売上高 **6,142** 百万円  
前年同期比 15.0%増



※当期11月よりMood Media Japan株式会社を連結の範囲とし、同社の業績をセグメントに含めています。



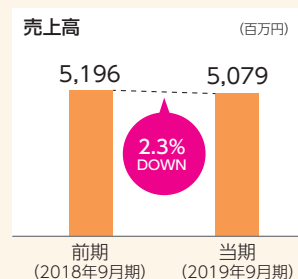
## フードサービス事業

売上高 **5,079** 百万円  
前年同期比 2.3%減

営業損失 **24** 百万円  
前連結会計年度は営業損失38百万円

当期は、受託事業において10件の新規受託となりました。特に現在注力しているホテル内レストランの運営受託は、当期に5件の新規受注となり、売上高10億円を超える規模に成長しています。食材販売事業においては、全国展開の大型受注先が2019年3月末にて契約終了となったことで、約4億円の減収となりました。

費用面での原価は、概ね計画通りに進行了しました。また、販売管理システムの活用により各事業所の収支管理の精度が上がり、人件費を含めた費用がきめ細かく管理されたことで、従業員食堂・レストラン運営の受託事業の利益は前期を上回りました。食材販売事業では固定費が計画値以下で管理されたことで、損失額を前期より縮小することができました。



※主に食材販売事業を営むヤマト食品株式会社におきましては、その全株式を2019年9月30日付で譲渡し、連結の範囲から除外しています。

※構成比率は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んだ数値で算出しています。





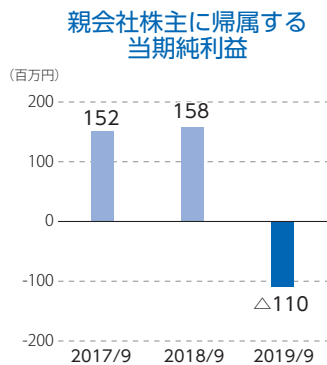
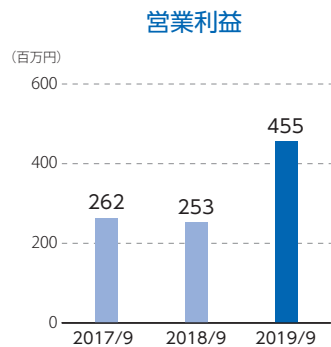
営業利益 **252** 百万円  
前年同期比 97.5%増

## 空間プロデュース事業

当期は、金融営業部門においてメガバンクの店舗改革等に伴う受注が堅調だったことに加え、生命保険会社、証券会社へも顧客を拡大することができました。法人営業部門においても商業施設のみならず、大手ディベロッパー、製造業、テーマパーク、ホテル、官庁、飲食チェーン等幅広い顧客へ様々な商材を提供しました。また、顧客の保守契約も増加し収益に貢献しました。

音響機器販売は、展示会展、セミナーの開催等のセールスプロモーションの拡充により大きく売上高を伸ばしています。特に海外製品は、取引会社とともに技術トレーニングを直接現地で行うなど商品知識の充実に努め、これまで以上に積極的な販売施策を展開することにより売上高、利益ともに拡大しました。また、商品センターの移転により在庫管理の効率化も図られました。

### 連結売上数値



## CSSのグループシナジー

最高の“おもてなし”を支える最適のパートナーに

ホテル・  
レストラン

金融機関

商業施設

学校・病院・  
介護施設

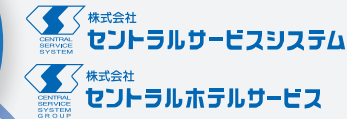
従業員食堂・レストラン運営の受託、  
外食事業を展開しています。



**Patriot Baton**

スチュワード  
事業

ホテル・レストランを中心として食器洗浄  
及び管理業務を全国展開しています。



フードサービス  
事業

CSSホールディングス  
グループ全体の経営・管理

空間プロデュース  
事業

BGMIに加え、映像・音響・放送・セキュリ  
ティに関する設計・販売・施工・管理・メ  
ンテナンスまで全てを可能とする空間プ  
ロデュースとして展開しています。



グループ内の総務・人事・経理管理を担当し、  
グループ各社のバックアップを行っています。



CSSグループを支えるグループ会社を連載でご紹介します。

## 空間プロデュース事業

# 東洋メディアリンクス株式会社

「機器設備」「音」「香り」を中心に総合的な空間プロデュースを提供します。



## 空間プロデュースのプロフェッショナル

当社は、BGM・音響・映像・セキュリティ・宴会場演出・情報通信など、様々な空間演出をプロデュースし、機器設備の施工や保守サービスを含めたトータルソリューションを提供しています。主なサービス分野は、「AVCソリューション」、「サウンドデザイン」、「フレグランスコーディネート」です。

AVCソリューションでは、主に映像・音響設備をはじめとする空間プロデュースシステムや、防犯カメラなどのセキュリティシステムを構築しています。施設の設備だけでなく、会議室のワイヤレスマイクやプロジェクターなども取り扱っています。施工して終わりではなく、納入後の保守サービスも含め一貫したサポートを行っています。セキュリティ関係ではメガバンクとのお取引が多く、信託銀行や証券会社といったグループ企業全体に納入しています。また、法人では、ホテル関係、百貨店・スーパーといった商業施設、工場施設などのほか、最近では介護施設などにも納めています。

サウンドデザインでは、主に商業施設や駅ビル、ホテルなどに、目的に合わせたBGMなどを提供しています。BGM

だけでなく、ナレーション、サウンドロゴ、チャイムなど音に関するコンテンツ全般を取り扱います。

フレグランスコーディネートでは、業務用芳香機器を用いて、ホテルのロビーなど大空間に向けた香りの演出を行っています。200種類以上のフレグランスを取り扱い、シーンにふさわしい印象的な香りをつくりだします。また、オリジナルの香りをつくることも可能です。ホテルのほかに商業施設やプライダル関係、小売店が主なお客様です。

各部門は日頃から連携を図りながら、お客様の事業に貢献すべく、事業に取り組んでいます。

## 独自のワンストップサービスと歴史が培ったノウハウ

空間演出では、音・映像に加え、香りの3つの分野をワンストップで扱うことができるのは他社にはない特長です。2018年から「SC(ショッピングセンター)ビジネスフェア」という展示会に出展しており、実行委員会が選ぶ「ブース賞」を2年連続で受賞、来場者の反響も多くいただきました。このことは、音・映像・香りのコラボレーション効果を認知していただけた手ごたえを感じました。

また、当社は、長い歴史がある会社ということもあり、培った様々なノウハウは大きな強みだと感じています。技術面だけでなく、例えば金融業界にある古くからの経験則に基づくルールなどにもしっかり対応ができます。さらに、ベンダーという立ち位置から様々なメーカーの製品を扱えるため、ご提案できる幅は非常に広いと思います。提案から導入後の保守サービスまで対応できるのが、当社の強みです。

## 大切にしていること、これから

音や香りは目に見えないサービスですが、これからの空間づくりには欠かせない要素になると思います。丁寧にヒアリングを行い、お客様の目指すものを実現する最適なツールとコンテンツをプロとして選ぶという意識を大事にしています。

機器に関しては、機能面で新しい付加価値を持った機器も登場していますので、時代の変化によって新しい商材に取り組んでいければと考えています。そして、若手も含めて信頼されるプロ集団として顧客との絆を深め、売上達成に努めてまいります。



(取材協力)  
東洋メディアリンクス株式会社  
金融営業部  
加地 靖和 (写真右)  
法人営業部  
谷本 貴冬 (写真中央)  
空間プロデュース営業部  
前川 紗穂 (写真左)

## 2019年9月期におけるグループ各社のトピックスをご紹介します。

CBS CSSビジネスサポート  
CSS セントラルサービスシステム  
PTB パトリオットパトン

TML 東洋メディアリンクス  
MMJ Mood Media Japan

### ビジネス サポート

CBS

## 人材確保に向けた取り組み

当社では、昨今の少子高齢化による人手不足の課題に対し、2019年10月に人事採用部を発足いたしました。

### 取り組み例

#### ■ 本社を採用センターとし、面接・研修を一括で実施

- ・ **効率的な配置を実現する**  
ある事業所が定員に達しても、近くの他事業所を応募者に提案できる
- ・ **面接辞退を防ぎ、面接設定率を向上させる**  
忙しい現場での日程調整で生じるタイムラグを解消し、素早く面接日を案内することで他社への流出を防止する
- ・ **面接や研修で本社との接点を増やす**  
会社への帰属意識を高め、モチベーションのアップや離職率の低下につなげる
- ・ **導入研修の確実な実施**  
SNS等情報セキュリティ研修などの確実な実施と、現場の負担の軽減につなげる

#### ■ 新入社員へのケア

顧問等が各事業所を訪問し、入社3年未満の新入社員に対して悩みや不安がないかをケアする

#### ■ 外国人スタッフへの教育

視覚的にわかりやすいポスターや字幕付き研修映像の作成

### 人事採用部より

当社グループの事業のうち、スチュワード事業及びフードサービス事業は人材集約型のビジネスとなっており、これらの事業においてはパート・アルバイト約6,000名、社員約380名が働いています。そして、近年のインバウンド需要の増加等により、当社の中心取引先となるホテルも増加しています。新規受注のさらなる拡大のためにも、安定的な人材確保は当社の最も大きな課題です。そうした背景から、東京オリンピック・パラリンピックを迎える前により効率的な採用を行うために、これまで複数の部門にまたがっていた採用・教育機能を集約し人事採用部といたしました。

人事採用部では、現在都内の約40事業所について、従来は事業所ごとに行っていた面接と導入研修を、本社一括で行う取り組みを始めています。当社の場合面接からの採用率は高いため、応募からの面接設定率10%アップを目標とし、軌道に乗れば関東全域、大阪へ広げていきたいと考えています。また、採用増加と並行して離職率の低下にも取り組みます。新人へのメンタル的なケアや、本社と関わる機会を増やす施策も充実させ、ゆくゆくは研修センターのような施設をつくることも視野に入れて取り組んでまいります。採用課、教育研修課、開発課の3つの課で協力し「攻めの人事」を目指していききたいと思います。

(取材協力:人事採用部部长 江原 理人)



### フード サービス

PTB

## 『KINBOSHI PASTA CAFE TEMMABASHI』 開店！

2019年5月24日(金)、大阪市・天満橋の京阪シティモール内に、『KINBOSHI PASTA CAFE TEMMABASHI(金星パスタカフェ天満橋)』がオープンいたしました。

店舗面積は約30坪、客席数39席と比較的ゆったりとくつろげる店内です。自慢の自家製麺を味わえるパスタをはじめ、豊富な種類のケーキやデザートを取り揃えており、時間を忘れてカフェタイムが楽しめる空間を提供します。

お近くにお越しの際はぜひ一度ご体験ください。



住所 〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 京阪シティモールB1F  
TEL 06-6809-2258  
営業時間 10:00 ~ 21:00(L.O. 20:30)

### スチュワード 空間 プロデュース

CSS

TML

MMJ

## 2019年9月期新規受注事例

当社のグループシナジーを生かし、株式会社セントラルサービスシステム、東洋メディアリンクス株式会社、Mood Media Japan株式会社が同時に新規受注を獲得した事例をご紹介します。

CSS・TML・MMJ  
同時受注！

### 東京會館様 丸の内本館



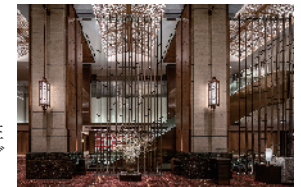
東京會館様は、皇居前に位置し、1922(大正11)年から日本を代表する国際的な社交場として多くの人々に愛されてきた施設です。その丸の内本館が改装工事を経て、レストラン8店舗、バンケット、ウエディングを有する複合施設として2019年1月8日に再び開場しました。

### 新規受注領域

CSS スチュワード業務

TML フレグランス  
(新本館エントランス)

フレグランス機器を設置するための箱は特注品。歴史あるお客様の由緒にふさわしい、モダンかつ落ち着いた香りをご提案しました。



MMJ BGM



「NEWCLASSICS.(新しく伝統的)」というコンセプトをBGMで表現。オープン後もBGMは更新してまいります。

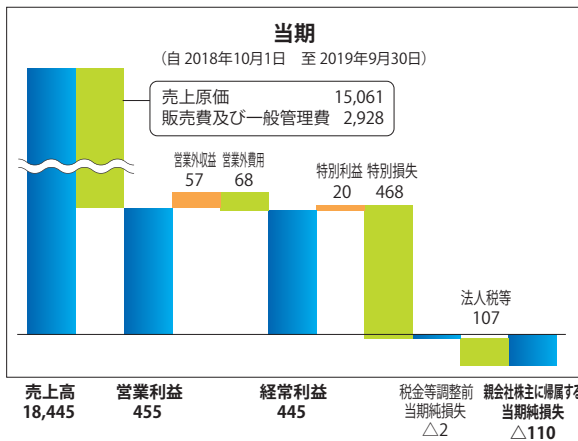
音楽提供エリア  
共用部B1 ~2F、3~4F、7F、会員制クラブ、  
プライダルサロン、全ての飲食施設



## ■連結財務データ

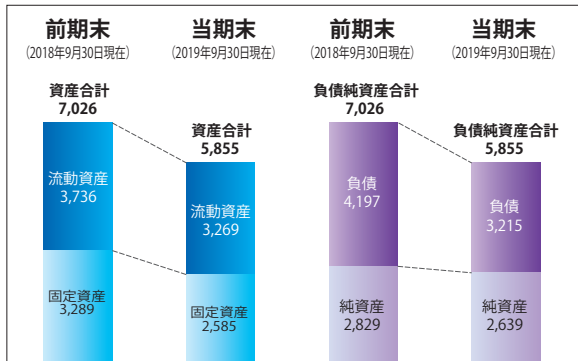
### 損益計算書の概要

(単位:百万円)



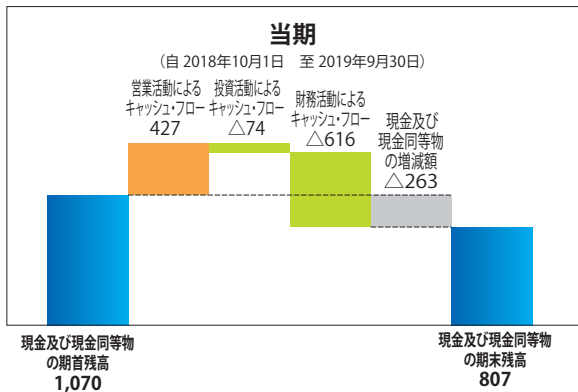
### 貸借対照表の概要

(単位:百万円)



### キャッシュ・フロー計算書の概要

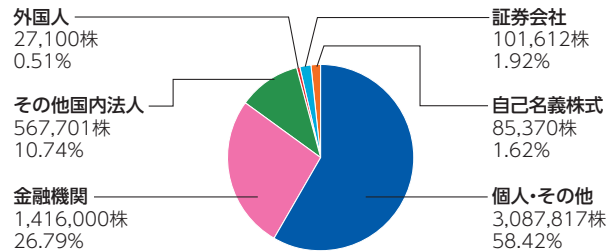
(単位:百万円)



## ■株式の状況(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 20,776,000株  
 発行済株式の総数 5,285,600株  
(内、自己株式85,370株)  
 株主数 1,764名

## ■株主分布(2019年9月30日現在)



※分布比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ■大株主

株主名	所有株数	持株比率*1(%)
野口 緑	1,294,500	24.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090802)	654,000	12.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090803)	606,000	11.65
S:TEC株式会社	425,000	8.17
原田 千壽	170,100	3.27
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)*2	154,800	2.98
三瓶 秀男	130,900	2.52
株式会社広美	80,000	1.54
CSSグループ従業員持株会	79,000	1.52
林田 喜一郎	56,700	1.09

※1 上記の持株比率は、自己株式85,370株を控除して計算の上、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※2 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、役員向け株式給付信託の信託財産として154,800株を保有しております。なお、当該株式は自己株式に含めておりません。

## ■会社概要(2019年9月30日現在)

会社名 株式会社CSSホールディングス  
 本社所在地 東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号  
 会社設立 1984年(昭和59年)12月  
 資本金 393百万円  
 連結従業員数 5,738名  
(うち、パートナー(パート・アルバイト)5,217名)

役員

代表取締役社長	林田 喜一郎
取締役会長	野口 緑
専務取締役	川勝 雄介
取締役	三瓶 秀男
取締役	辻 勝太郎
取締役 監査等委員(常勤)	渡邊 和男
取締役 監査等委員(社外)	越智 敦生
取締役 監査等委員(社外)	田口 泰一

## 株式Information

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで  
 定時株主総会 毎年12月  
 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年9月30日  
 株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

### <住所変更等のお申出先について>

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### <未払配当金の支払について>

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

最新の実績紹介のほか、ニュースリリースやIR情報など、当社の事業活動についての情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://www.css-holdings.jp/>

セントラルサービスシステムグループ  
 CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP  
 株式会社CSSホールディングス

〒103-0001  
 東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号  
 TEL: 03-6661-7870 / FAX: 03-6661-7871